

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 080	提案機関名 畜産技術センター
<b>要望問題名</b> 「かながわ鶏」の飼養における、生産コストを抑えた飼養方法の検討	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 かながわ鶏を普及するにあたり、1羽あたりの生産コストの低減は必須。 そこで、肉用鶏経営として最も効率のよい、①㎡あたりの飼養羽数、②飼料給与量及び給与方法の検討をお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	畜産技術センター	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	①実施    ②実施中    ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立 (H26～28)			
<b>対応の内容等</b> かながわ鶏の飼養管理については、すでに飼料の違いや出荷日齢の違いについて検討しています。 平成28年には飼養管理の手引きを作成していますので、参考にしてください。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内    ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			